

みんなのあんしんファイル

保健事業に関するお問い合わせは、保健センター(TEL26-5670/FAX26-5660)

保健センターの場所は、伯耆しあわせの郷2階です。

健 母子保健スケジュール

種類	対象	日程	時間	場所	持参する物	ご案内
6か月児健康診査	平成23年5月 生まれの乳児	12/8(木) 12/9(金)		保健センター		保護者に通知します。 ※当てはまる月の次の月まで案内しています。
1歳6か月児健康診査	平成22年5月 生まれの幼児	12/6(火) 12/7(水)	(受付時間) 13:00~13:20		・母子健康手帳 ・アンケート用紙	保護者に通知します。 ※1歳11か月までは受けることができます。
3歳児健康診査	平成20年11月 生まれの幼児	12/1(木) 12/2(金)				保護者に通知します。 ※3歳11か月までは受けることができます。
育児相談	市内在住の乳幼児	11/28(月)	9:30~11:30		・母子健康手帳	保健師・栄養士による個別相談
フッ素塗布	市内在住で希望する人	11/28(月)	9:30~11:30 13:30~15:30	中部歯科医師会 口腔衛生センター	・歯ブラシ ・母子健康手帳(子どものみ)	歯科診察はありません。
		11/26(土)	(受付時間) 13:30~15:30		・歯ブラシ ・コップ ・母子健康手帳(子どものみ)	歯科診察はありません。 ※要申込(申込先:口腔衛生センター TEL22-5472)
マタニティサロン	市内在住の妊婦とその家族	11/28(月)	9:30~11:30	保健センター		みんなで話ができる場です。
離乳食講習会	生後4~7か月児の保護者	11/24(木)	13:30~15:30	保健センター	・母子健康手帳 ・エプロン ・筆記用具	離乳食の実習と試食 ※要申込 ※平成23年6月、7月生まれの第1子の保護者に通知します。

健 急性灰白髄炎(ポリオ)予防接種

対象	日程	受付時間	場所	持参する物
・9月に1回目を接種した人 ・7歳6か月未満で接種を受けていない人	11月16日(水) 11月17日(木) 11月18日(金)	13:00~14:00	保健センター	・母子健康手帳 ・予診表

*予防接種は感染症から体を守る大事なものです。未接種の人は期限内に接種しましょう。

健 健康づくり

種類	対象	日程	時間	場所	ご案内
健康相談	市内在住で希望する人	11/25(金)	13:30~15:30	保健センター	栄養士・保健師による個別相談(食事・運動など健康について) ※要予約(予約先:保健センター TEL26-5670)

*ご希望により血圧測定、体重測定、体脂肪率、内臓脂肪レベル測定ができます。相談日以外でも随時相談を受け付けています。

健 集団健康診査

日程	場所	受付時間	健診内容
11/16(水)	社公民館	8:00~10:00	・特定健診 ・長寿(後期高齢者)健診 ・一般健診
12/4(日)	保健センター ※要申込	8:00~10:00 13:30~14:30	・がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮・乳) ・肝炎ウイルス検査
11/30(水)	関金総合文化センター ※要申込	9:00~10:00 13:30~14:30	・子宮がん検診 ・乳がん検診(視触診検査・マンモグラフィ検査)

健 厚生病院の子宮がん・乳がん検診

日程	場所	受付時間	健診内容
11/10(木)、11/17(木)	厚生病院	11:40~12:20	・子宮がん検診 ・乳がん検診(視触診検査)
11/14(月)、11/15(火)、11/18(金)、11/24(木)、11/25(金)		14:45~14:55	・乳がん検診(マンモグラフィ検査)

*要申込(申込先:保健センター TEL26-5670)

*12月以降の子宮がん検診・乳がん検診の申し込みも受付中です。

献血にご協力ください

【全血献血】

とき 11月27日(日) 9:30~15:00

ところ 倉吉未来中心

問 鳥取県赤十字血液センター (TEL0857-24-8101)

休日急患診療機関

受付時間: 午前8時~翌朝午前8時

実施日: 日曜日・祝日

日程	内科	外科
11/13(日)	垣田病院	北岡病院
11/20(日)	野島病院	清水病院
11/23(水)	藤井政雄記念病院	厚生病院
11/27(日)	信生病院	野島病院
12/4(日)	垣田病院	清水病院

健: 「倉吉健康ガイド」掲載事業。事業の対象年齢や料金などの詳細は、健康ガイドをご覧ください。

保健

12月1日は「世界エイズデー」です

WHO(世界保健機関)は、エイズの流行防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に、12月1日を世界エイズデーと定め、エイズに関する啓発活動などの実施を提唱しています。

【理解と支援の象徴】レッドリボン

エイズで死亡する人々への追悼と、エイズに苦しむ人々への理解と支援を示すものです。



【エイズは、今も静かに広がっています】

日本では、感染者数の増加傾向が続いています。

平成23年に国内で新たに報告されたエイズ患者は453人(過去最多)、HIV感染者は1,050人(過去3番目に多い)にのびります。これは、

全国で一日に約4人が感染している計算になります。
【エイズは若い世代だけの問題ではありません】
HIV感染者数は20〜30代で増え続けていますが、新規のエイズ患者の約6割を40代以上が占めています。

【HIV・エイズへの知識と理解がまだ足りません】
HIV・エイズは、決して特別な人だけの特殊な病気ではありません。HIV感染の8割以上が性行為によるものです。

一人一人が正しい知識を持つていれば、過剰に恐れることなく、適切な対処ができるはずですよ。

※APIネット(エイズ予防情報ネットワーク) <http://api-net.jp>

【健康診断や人間ドックを受けるようにHIVの検査を】

HIVは、感染してもすぐに症状が出るわけではありません。検査を受けることで、早期発見につながります。

「陽性」の場合、将来エイズを発症する可能性があります。薬をきちんと服用し続けられ、これまで通りの生活を送ることが出来ます。倉吉保健所でも検査を受けることができます。

▼HIV・性感染症(クラミジア・梅毒)検査日程
※事前の予約が必要です。

検査日		受付時間	予約方法
平日	第1・3水曜日 定例(休日を除く)	午後1時30分 ～2時30分	【電話予約】 平日 午前8時30分 ～午後5時15分
休日	12月4日(日)	午後1時 ～3時30分	
夜間	12月7日(水)	午後5時30分 ～7時	

問 倉吉保健所 23-3145 / 23-4803

糖尿病予防講演会

糖尿病は、脳卒中や急性心筋梗塞を引き起こす大きな要因です。鳥取県内でも、健診などで異常が見つかる割合が年々増加しており、重症化予防や患者への支援がより一層重要になってきています。

【とき】11月19日(土)午後2時〜4時

【ところ】倉吉未来中心 セミナールーム3

①「糖尿病ってどんな病気?」

「糖尿病とのつきあい方」
講師…村脇 あゆみさん (厚生病院 内科副院長)

②「何を食べる、どう食べる?」
「糖尿病の食事術」
講師…倉吉市保健センター 主任栄養士
参加費…無料(申込不要)

中部住民健康フォーラム

「生活習慣病にならないために血液サラサラをめざして」

【とき】11月27日(日)午後2時〜4時15分

【ところ】倉吉未来中心 セミナールーム1

【基調講演】
「歳と共に、血管は傷む」
講師…浜崎 尚文さん(厚生病院 外科)

【シンポジウム】
生活習慣病予防の運動…遠藤直哉さん(清水病院 理学療法士)

血液サラサラの食事…福井淑子さん(三朝温泉病院 管理栄養士)

心臓病と動脈瘤の治療を経験して…道祖尾 孝康さん

問 中部医師会 23-1321 / 23-1323

お米をお届けします!

コシヒカリ 5kg/10kg
ひとめぼれ 5kg/10kg
きぬむすめ 5kg/10kg

5kgから宅配します

特典 (ポイントカード)

① お買い上げ500円ごとにスタンプ1個。30個で米2kg、60個で米5kg サービス
② 65歳以上の方は、ポイントが2倍!

嶋田米穀株式会社 0858-27-2277 / 0858-27-2278

お料理 仕出し よしだ屋

各種席膳・パック膳
会席・お寿司・おさしみ
血盛折詰・弁当・お節料理

ご予約は 倉吉市越中町2095-1
0858-22-2759 / 0858-23-6385

～有料広告募集中～

【大きさ】
1号:縦5cm×横18cm
2号:縦5cm×横9cm
3号:縦5cm×横6cm

【掲載料】
1号:30,000円/回
2号:15,000円/回
3号:10,000円/回

倉吉市総合政策課 0858-22-8161 / 0858-22-8144

レッツ! 介護予防

11月の認知症の人と家族の会 「家族の集い」

介護家族・介護体験者が参加して、お互いが抱えている悩みを語り合い、分かち合ったり、情報交換したり、何でも話し合える場です。気軽に参加してください。

倉吉会場 第3木曜日

と き：11月17日(木)午前10時～正午
と ころ：倉吉交流プラザ

関金会場 7月、10月、1月の第1木曜日

問 長寿社会課(TEL 22-7851 / FAX 22-2954)

11月ホッといきいき教室 ～介護予防教室～

【と き】11月29日(火)午前10時30分～午後3時
【内 容】午 前：話「消費者被害をなくそう」

講 師：秋山 侑未さん(倉吉市消費生活相談員)

午 後：自由時間(脳トレクイズ、ニュースポーツ、健康相談など)

【ところ】グリーンスコレせきがね

【参加料】1,300円(昼食・入浴料)

【募集条件】65歳以上で、介護認定を受けていない人
※毎月、申し込みが必要です。

※送迎希望の場合は、開催日の1週間前までにご連絡ください。

問 長寿社会課(TEL 22-7851 / FAX 22-2954)

～皆さん、どんどん利用してください～ 駅北循環バス実証運行開始

10月1日(土)

倉吉市では、これまで運行要望が多かったJR倉吉駅北側の国道179号線を循環するバスの試験運行を開始しました。

運行開始にあたり、石田市長など関係者がテープカットを行い、始発便の運転手に打吹天女から花束が贈られました。

このバスの沿線には、たくさんの商業施設があり、それらをつなぐようにバス停を配置することで利便性の高い運行を目指しています。毎日午前9時から午後6時まで30分間隔で運行しています。

現在、利用者にアンケートを実施しており、利用状況を勘案しながら、来年4月からの本格運行を予定しています。



～御霊よ、安らかに～

第58回倉吉市戦没者慰霊祭

10月6日(木)

倉吉未来中心小ホールで、今年も倉吉市戦没者慰霊祭が執り行われ、参列者は太平洋戦争などで犠牲となった尊い命に思いをはせ、平和への誓いを新たにしました。

参列者全員で黙とうをささげた後、石田市長が「心ならずも散った御霊の祖国への熱い心を受け継ぎ、われわれも力と英知を結集して、東日本大震災という戦後最大の危機を乗り越えたい」とあいさつしました。

参列者は祭壇に白い菊の花を供え、戦地に散った家族などへ改めて哀悼の意を表しました。



～自分で収穫！秋の味覚～

倉吉西保育園農業体験

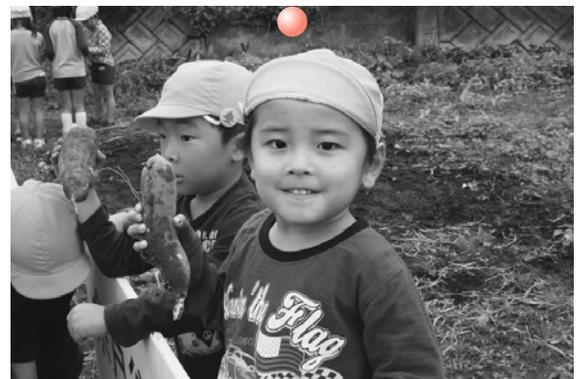
10月7日(金)

倉吉西保育園の園児約30人は、余戸谷町公民館が管理している畑で栽培したサツマイモの収穫作業を行いました。

園児たちは力を込めて芋を掘り起こしたり、ダンゴムシや昆虫などを捕まえたりと、楽しそうに農業体験をしていました。

作業終了後、園児たちは一緒に農業体験をした余戸谷町の皆さんに「ありがとうございました」と大きな声でお礼を言いました。

収穫したサツマイモは11月8日(火)に行う倉吉西保育園焼き芋大会で使う予定にしています。



まちかど ピンナツツ

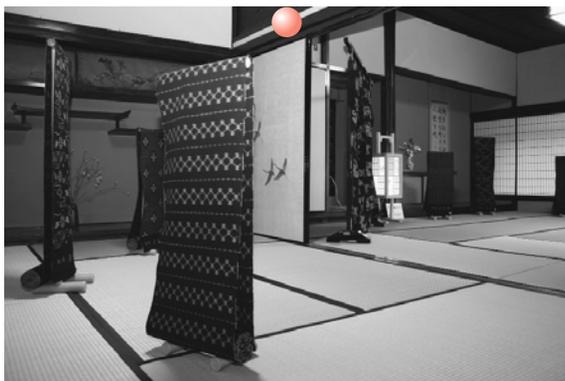
～江戸時代の農家の暮らしを体感～

鳥飼家住宅一般公開

10月8日(土)、9日(日)

県民の建物100選でもある県指定保護文化財鳥飼家住宅が一般公開されました。江戸時代に庄屋を務めた鳥飼家の住宅は、江戸時代中期の入母屋風かやぶき屋根の建物です。平成20年と22年には、屋根のふき替えが行われ、現在、厚みを増したかやぶき屋根を見ることができます。

8日(土)には、倉吉ライオンズクラブからお茶が振る舞われ、訪れた人は、それをいただきながら、まや(牛小屋)やいろりなど往時の暮らしに思いをはせていました。



～絁と町屋のコラボレーションを堪能～

倉吉^{かきり}絁展示会

10月14日(金)～19日(水)

絵をそのまま織り込んだような、複雑な模様が美しい「倉吉絁」は、江戸時代中期から全国に普及して人気を博しました。今回の展示会の会場となった「倉吉淀屋」がある東岩倉町も、かつては絁工場がある町でした。

江戸時代の町屋である「倉吉淀屋」と「倉吉絁」が醸し出す風情は、盛隆期が同じこともあるせいかピッタリとマッチ。素朴で落ち着いた雰囲気に来場者も感嘆の声を上げ、「倉吉絁」の藍染と手織りの素朴な風合いに見入り、楽しんでいました。

～白壁土蔵群に新名所がまた一つ～

チャレンジショップ「あきない塾」 第12期オープニングセレモニー

10月17日(月)

白壁土蔵群を訪れる人の心をくすぐる、新しいお店がオープンしました。「さのここ」(代表:杉本悦子さん)は、手作りの洋服や雑貨を扱うかわいらしいお店です。「モダン」(代表:大口 義敬さん)は、レトロな雑貨やオリジナル雑貨がセンス良くディスプレイされたおしゃれなお店です。

オープニングセレモニーにあたり、杉本さんと大口さんは、「手作りは、一つ一つ心をこめて作ることでぬくもりや優しさを生みます。そこから皆さんの笑顔も生んでいきたい」、「伝統ある白壁土蔵群にお店を出すことができてうれしい。しっかりやっていきたい」とそれぞれ抱負を語りました。



～社会教育の推進に貢献～

(社)全国社会教育委員連合表彰受賞

9月21日(水)

竹田^{ひでき}秀紀さんが(社)全国社会教育委員連合表彰を受賞されました。

竹田さんは、昭和61年から関金町社会教育委員、平成17年からは倉吉市社会教育委員を務め、青少年の健全育成活動の経験などに基づき、家庭教育の目安として「倉吉の子育て十か条」の策定に指導、提言をいただくなど、多年にわたり本市社会教育の振興に貢献しておられます。

